



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社

コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 桜田 弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画部長 (氏名) 池田 達也

TEL 0475-26-0160

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	16,768	9.2	417	△9.2	467	△60.1	△11	—
26年3月期第1四半期	15,352	3.3	459	—	1,172	—	742	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 839百万円 (△62.1%) 26年3月期第1四半期 2,218百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△0.27	—
26年3月期第1四半期	16.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	151,573	136,324	84.0
26年3月期	150,859	137,035	85.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 127,386百万円 26年3月期 128,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,600	8.4	900	3.2	1,000	△39.1	100	△89.1	2.25
通期	70,800	10.0	3,100	39.9	3,500	△7.6	1,500	△16.5	33.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	45,886,739 株	26年3月期	45,886,739 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	1,463,394 株	26年3月期	1,463,257 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	44,423,467 株	26年3月期1Q	44,424,786 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合があり得ることをご承知おきください。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、アセアン地域をはじめとした新興国では足踏み状態となったものの、欧米や中国では総じて緩やかな回復基調となりました。

国内経済は、各種政策の効果などから企業収益に改善がみられるなど、緩やかな回復が続いており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がありましたが、その影響も和らぎつつあります。

このような状況のなか、当社グループは、前期から引き続き既存事業の収益力強化と新規事業である有機ELディスプレイおよびタッチパネルの売上拡大に注力しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は167億6千8百万円(前年同期比9.2%増)となりました。このうち海外売上高は、欧州およびアジア市場での売上げが伸びたことから、97億1千万円(前年同期比9.6%増)となり、国内売上高は70億5千8百万円(前年同期比8.7%増)となりました。収益面では、営業利益は4億1千7百万円(前年同期比9.2%減)、経常利益は4億6千7百万円(前年同期比60.1%減)、四半期純損益は1千1百万円の損失(前年同期は四半期純利益7億4千2百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

① 電子部品事業

蛍光表示管につきましては、海外・国内共に主力である車載用途が伸び悩み、売上げは前年同期を下回りました。

蛍光表示管モジュールは、計測器用途が好調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

有機ELディスプレイは、前期に本格参入した車載用途が大幅に増加し、タッチパネルも車載用途が順調であったことから、共に売上げは前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は59億5千7百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

② 電子機器事業

ホビー用ラジコン機器につきましては、大手パートワーク(分冊百科)販売会社に供給しているコマンド方式サーボモーターが引き続き好調であったことに加え、海外市場が持ち直したことから、売上げは前年同期を上回りました。

産業用ラジコン機器は、トラッククレーン向けや農業関連向けのテレコントロール製品が順調に推移したことから、売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は24億1百万円(前年同期比20.3%増)となりました。

③ 生産器材事業

プレスおよびモールド金型用部品、プレジジョンプレートなどにつきましては、海外では、韓国での売上げが為替の好影響があり、国内においても、プレジジョンプレートの製品ラインアップ見直しなどの施策を実施した結果、海外・国内共に売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は84億9百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したものの、建設仮勘定や投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ7億1千3百万円増加し1,515億7千3百万円となりました。

負債は、退職給付に係る負債や支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ14億2千4百万円増加し152億4千8百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が増加したものの、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ7億1千万円減少し1,363億2千4百万円となりました。この結果、自己資本比率は84.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が699百万円増加し、利益剰余金が699百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,160	58,509
受取手形及び売掛金	18,007	18,388
有価証券	6,463	6,045
商品及び製品	3,970	4,276
仕掛品	2,734	2,809
原材料及び貯蔵品	6,350	6,413
その他	1,231	1,291
貸倒引当金	△195	△216
流動資産合計	98,722	97,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,115	12,918
機械装置及び運搬具（純額）	10,301	10,027
工具、器具及び備品（純額）	723	750
土地	16,533	16,663
リース資産（純額）	111	108
建設仮勘定	1,774	3,033
有形固定資産合計	42,559	43,500
無形固定資産	1,101	1,098
投資その他の資産		
投資有価証券	7,067	8,071
その他	1,507	1,547
貸倒引当金	△99	△160
投資その他の資産合計	8,475	9,457
固定資産合計	52,136	54,056
資産合計	150,859	151,573

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,828	5,097
短期借入金	15	11
未払費用	2,543	2,653
未払法人税等	574	475
賞与引当金	1,223	754
その他	1,398	2,146
流動負債合計	10,583	11,138
固定負債		
役員退職慰労引当金	40	46
退職給付に係る負債	1,906	2,595
その他	1,293	1,468
固定負債合計	3,240	4,110
負債合計	13,824	15,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,594	21,594
利益剰余金	90,802	89,469
自己株式	△3,278	△3,278
株主資本合計	131,677	130,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	703	1,023
為替換算調整勘定	△4,739	△4,623
退職給付に係る調整累計額	690	642
その他の包括利益累計額合計	△3,345	△2,957
少数株主持分	8,702	8,937
純資産合計	137,035	136,324
負債純資産合計	150,859	151,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	15,352	16,768
売上原価	12,367	13,349
売上総利益	2,985	3,419
販売費及び一般管理費	2,525	3,002
営業利益	459	417
営業外収益		
受取利息	98	83
受取配当金	66	95
為替差益	427	—
その他	132	102
営業外収益合計	725	280
営業外費用		
為替差損	—	215
その他	12	14
営業外費用合計	12	229
経常利益	1,172	467
特別利益		
固定資産売却益	40	6
特別利益合計	40	6
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産廃棄損	17	5
特別退職金	33	—
特別損失合計	51	7
税金等調整前四半期純利益	1,161	466
法人税、住民税及び事業税	232	222
法人税等調整額	△29	50
法人税等合計	203	272
少数株主損益調整前四半期純利益	957	193
少数株主利益	215	205
四半期純利益又は四半期純損失(△)	742	△11

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	957	193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188	314
為替換算調整勘定	1,071	379
退職給付に係る調整額	—	△47
その他の包括利益合計	1,260	646
四半期包括利益	2,218	839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,894	376
少数株主に係る四半期包括利益	324	463

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,707	1,995	7,648	15,352	—	15,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	1	0	5	△5	—
計	5,711	1,997	7,648	15,357	△5	15,352
セグメント利益又は 損失(△)	△479	327	610	459	0	459

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,957	2,401	8,409	16,768	—	16,768
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	—	2	△2	—
計	5,959	2,401	8,409	16,771	△2	16,768
セグメント利益又は 損失(△)	△778	484	711	418	△0	417

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。